



感動のそばに、いつも。

観光業から取り組む 海業地域活性化 ～和歌山県太地町～

2023年12月13日

JTB和歌山支店 営業課 颯田 康一



颯田（さった） 康一 （44歳／大阪生まれ）

2003年 JTB入社 法人営業大阪支店勤務

2003年～2010年 企業系の団体旅行に従事

2011年～2019年 公務営業担当

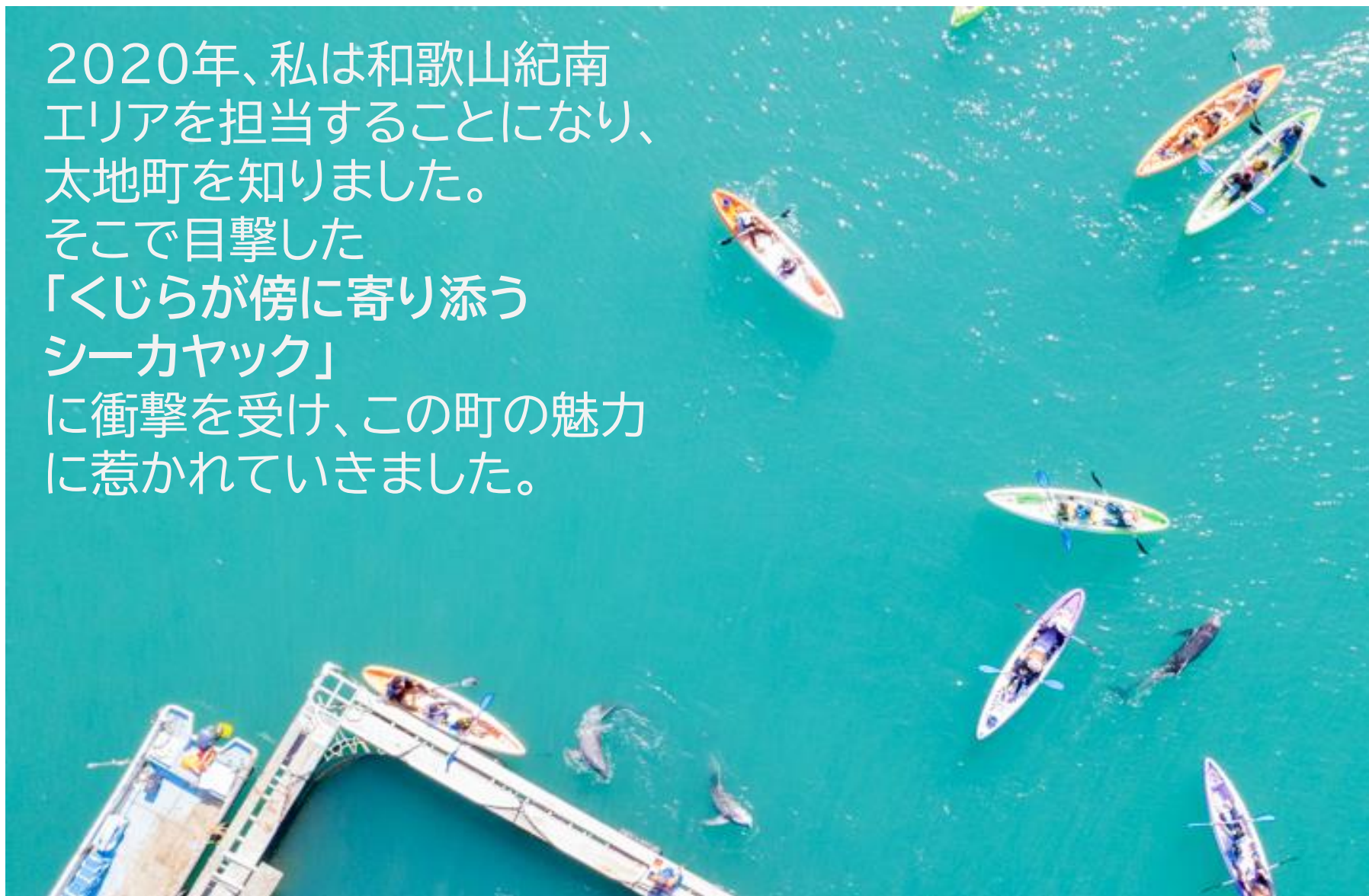
農林水産省、中小企業基盤整備機構、日本貿易振興機構、沖縄県、宮城県、長野県等の食を中心とした国内外の販路支援事業に取り組み、商談会・展示会・物産展等のイベントに従事

2020年 ツーリズム事業本部 **JTB和歌山支店配属**

和歌山県の県産品の販路支援、観光庁の補助金を活用した観光コンテンツの磨き上げ等、地域交流業に従事。

そして、太地町に出会いました！！

2020年、私は和歌山紀南
エリアを担当することになり、
太地町を知りました。
そこで目撃した
「くじらが傍に寄り添う
シーカヤック」
に衝撃を受け、この町の魅力
に惹かれていきました。



【海業の可能性】

●社会・経済・環境は変化し続ける・・・実態に合わなくなった制度やシステムを見直す **「浜の機能の再編」**

未利用資源の活用→ ①未利用施設の整理・再利用 ②異業種連携

●新たな人材・組織・資金の投入

新たな価値観に基づいた水産業の成長、地域経済の活性化

●海業等の担う役割

漁協等による**民間事業者他との連携**。漁村を資源とした**交流等による人・経済の活性化**

【漁村の活性化と地域振興の取組み】

●地域漁業の存続・活性化に向けた**異業種連携**の取組み

海業を行う**漁協と民間事業者等**の連携 →漁村の**地域経済活性化**を目指す

異業種連携を活かした、**多様な人びととの交流**を推進し、**水産関係人口の維持、増大**を図る

● 太地町の位置

紀伊半島の東側、本州最南端 串本町“潮の岬”から北東へ20キロ

● 古式捕鯨発祥の地

江戸時代前期 慶長11年 和田頼元が“突取法”を考案
約70年後、孫の和田頼治が“網掛突取法”を改良

● 主な漁業

沿岸小型捕鯨と国内唯一の追い込み漁

大型定置網漁、刺網漁、小型船漁業などで、ブリ、サワラ、カツオ、イセエビなど多様な魚種を漁獲

● 地区の現状と課題

人口約3千人、町の基幹産業である水産業を核に、固有の地域資源であるくじらを活用した学術研究及び交流観光等、6次産業に取り組んでいる「森浦湾くじらの海計画」

喫緊の課題としては、小型捕鯨並びに定置網漁獲物の浜値安定による漁業所得の向上と、中心的な漁業の振興を多様な6次産業振興へ波及させることである

● 太地町漁協の主な取り組み

昭和38年 漁協スーパー設立、令和3年度売上げ 333百万円
一日客数平均 611人、客単価1500円
「本気の朝市」、太地町主催、協力参加

平成25年 鯨肉加工所設立、学校給食用 クジラ肉加工出荷

平成26年 シーカヤック事業開始

平成29年 道の駅たいじ 開業 太地町漁協 運営・管理

令和2年 森浦湾海上遊歩道、仕切り網 運営・管理

その他 飛鳥神社 社務所の建替え、祠の修繕、恵比寿神社 鳥居の建立、町指定文化財補修、小中学生のスポーツ振興等



日本遺産
鯨とともに生きる



和歌山県・熊野灘の捕鯨文化に関するストーリー
『鯨とともに生きる』が日本遺産に認定！

新宮市、那智勝浦町、
太地町、串本町



JAPAN HERITAGE

日本遺産

くじらのまちづくり将来構想図

くじらと共に歩み、学ぶ くじらのまちづくり将来構想図

鯨類の放流（蓄養池）



自然に近い状態で、鯨類を放流蓄養し、体験学習や観光ふれあいの場をつくります。

磯遊び体験の場

- 漁業者や学校の先生OB、地域住民等が地域内外の子どもたちに鯨の生物の生態や磯遊びの楽しさを教えます。
- 修学旅行や夏休み宿題ツアー企画なども考えます。



体験漁業へ



くじらの見える海鮮レストラン

くじらの博物館森浦湾ラボ

休憩施設・公衆便所・駐車場等

森浦湾シーカヤック体験基地

くじらと泳ぐ海水浴場



海からシーカヤックでアクセスするプライベートビーチ型のくじらと親しく泳げる海水浴場。

公衆便所・管理棟・駐車場等

多目的広場

- 鯨の遊泳展望
- 体験オリエンテーション
- 屋外イベント
- 花火大会やバーベキュー

投餌見学体験



時には海上特設ステージとして海上コンサート等も考えます。

定期的な朝市の開催

- 太地町の農水産物や伝統的な加工品など一堂に会する朝市が定期的開催されます。
- そこではくじらを見ながら浜や磯でできる海鮮バーベキューセットも売っています。



情報センター
休憩施設
駐車場等

桜並木遊歩道

売り場面積 200㎡

【令和3年度】

1日の平均客数 611人

客単価 1500円

年間売上 333百万円



[漁協の抱える課題]

- ・漁獲量の減少、魚価単価の低迷、漁業者の高齢化等の問題を抱える

取組み前

- ・これまで町には観光受入れのための案内や拠点施設がなく、受入れ機能の設置が望まれてきた
- ・漁協を含む、**企画・運営を検討する協議会の立上げ**で施設機能を検討

対策：取組み内容

複合的観光事業への取組み

まちのゲートウェイとなる、道の駅 たいじの開業
農水産物の直販所・海のレストランの開設

- ・定置網漁で水揚げされる水産物の他、**町内産鯨類加工品**を取り扱う
- ・地場産の食材を中心に使用した食堂の併設。看板メニューは、**くじら・イルカ料理**等の郷土料理
- ・**観光インフォメーション(交流・情報発信)**を充実化
- ・同時期に**森浦湾くじらの海 海上遊歩道**を整備。令和2年度から運営・管理。湾奥で**小型鯨類を放流**。間近に鯨類が寄ってくる遊歩道やカヤックが好評を得ている

[効果]

- ・水揚げは減少しているが、漁協の経営する「漁協スーパー」、「道の駅」の経営が好調となり、**75歳以上の組合員から水揚げ部金(漁協手数料)を徴収しないことを決定(令和元年)**
- ・還元の理由は、長く漁協に貢献して頂いた**感謝の気持ち**と、これからも**元気に頑張してほしいという願い**から
- ・令和3年度 **道の駅レストラン・直売所売上 113,226千円**

道の駅たいじ/ 令和3年度 利用者数,売上げ	
海のレストラン	26,670人 39,800千円
直売所	55,000人 73,426千円



道の駅 たいじ



鯨カツカレー



教育旅行の受け入れ



SUP



家族と



磯遊び



愛犬と



くじらの
海上プール



ヨガ

■ 2020年（令和2年）観光庁 誘客多角化事業 シーカヤック体験を取り入れた漁業体験ツアーの実施



【①シーカヤック体験】



【②ジェイさんの町歩きガイドツアー】



【③定置網漁体験】



【④くじらの博物館餌付け体験】



【⑤博物館自然学習】

■ 2021年（令和3年）観光庁 地域の観光の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業 オフシーズンと気候条件に強い、太地町ブルーツーリズムの構築と異業種連携による新たな地域経済の創出。 学生と外国人を対象に実施。



【①捕鯨船 勝丸見学】



【②水産加工干物作り体験】



【③ポンカン摘み体験】



【④大泰寺 朝粥体験】



【⑤座談会】

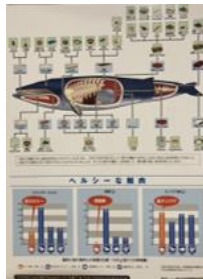
■ 2022年（令和4年）文化庁「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業 都市部を対象とした「太地町鯨食体験モニターツアー」の実施 食の見本市出展による、太地町鯨食文化ストーリーのPR活動及び情報発信



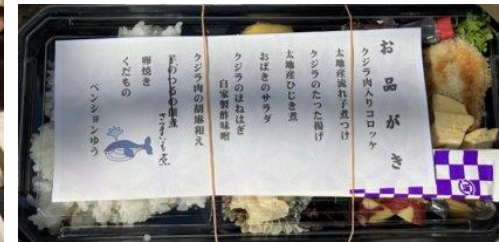
【①キャッチャーボート前にて
元捕鯨員による解説】



【②太地町漁協提供 鯨の部位別
食べ比べ体験・解説】



【③太地町立くじらの博物館
学芸員 櫻井氏解説】



【④くじら弁当】



【⑤座談会】



【⑥食の見本市、スーパーマーケットトレードショーへの出展】

■ 2023年（令和5年）観光庁 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 訪日外国人を対象とした、太地町アドベンチャーツーリズム構築のためのモニターツアー実施 ※12月と1月に実施

■ モニターツアー実施後に、太地町の今後の海業の発展に資する座談会とアンケートを実施。以下、一部抜粋となります。

- ・非常に有益で洞察に満ちた太地のツアーでした。**ジェイさん**は太地の文化、漁業に関する知識が豊富で、また彼の説明やシェアしてくれたストーリーはとても面白かったです。ただ、ツアー中は寒かった。
- ・**町の人**に直接お話を伺いできて有意義な時間でした。また参加者同士で話をする機会（夕食や座談会）があったことで違う視点に気付くことができたり、自分の考えを整理する時間にもなりました。
- ・**櫻井さん**のレクチャーはとても刺激的でした。捕鯨やいるか文化のことだけでなく、この町がどう歩んできたのか、またどのように変質していくのか、高い専門知識を教えていただけ、貴重な時間であった。
- ・**組合長の**、太地に長年住んできた人だからこそ聞いた話があった。単なる観光では聞けない、学べないものがたくさんあり、充実した内容だった。ただ、少し不適切な言葉もあったため、事前に話をまとめたり、構成した上でお聞きしたかった。
- ・暖かく、私たちの滞在のための準備がしっかりされていた。**お坊さん**は大変フレンドリーで、色々なことを上手に教えてくれた。
- ・**漁師さんとの**交流がもっとあったらいいのかなと思いました。漁についてや漁師さんだからこそ知っている知識など聞ける機会があればもっと興味深くおもしろい経験となるのではないかなと思いました。捕鯨についても批判があるのは正しい情報を知らない人たちがいるからというのも1つにあると思うので、情報発信をここに来た人たちにもしてもらおう工夫をしたらよいと思った。

- モニターツアー参加者の声を反映させた、太地町住民の方とのつながりを意識した体験を提供。また、今までの体験を一過性に終わらせず、継続的に販売できる仕組みを構築させていきます。

【（私の）販売イメージ／ 太地町漁業協同組合を中心とした、高付加価値体験コンテンツの販売】

【体験コンテンツ販売】

太地町漁業
協同組合

JTB和歌山
支店

【コンテンツ開発・流通支援】

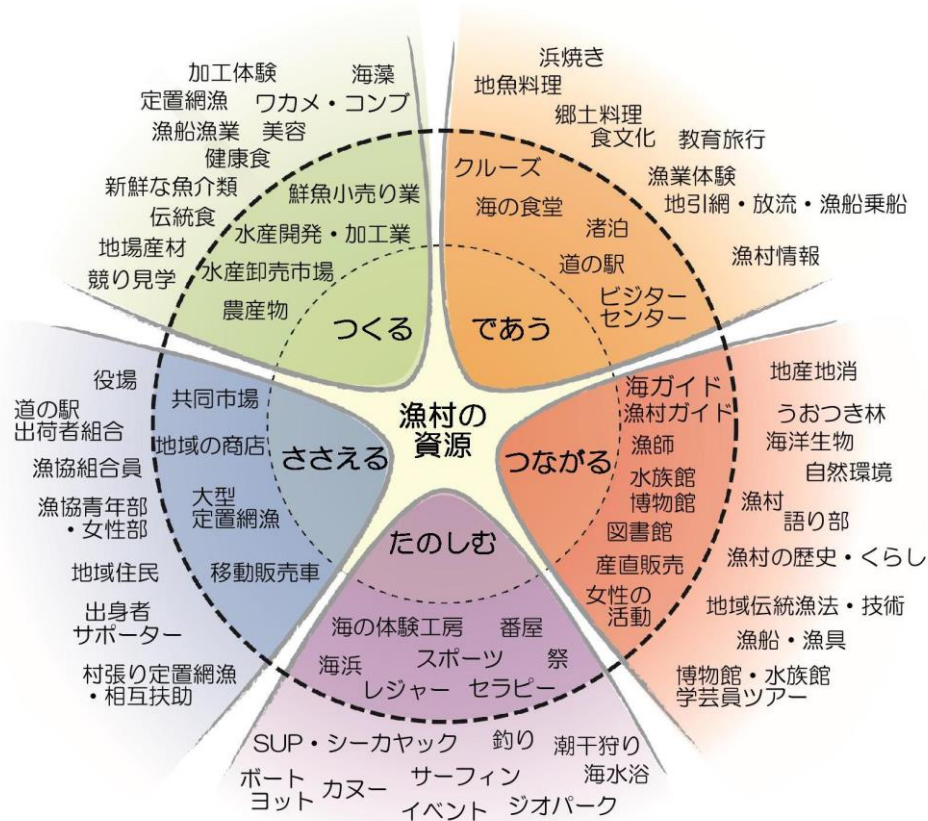
シーカヤック体験
大人
2時間
4,400円



- 博物館学芸員と巡る
- ジェイさんとの町歩き
- お坊さんとの朝粥体験
- 水産加工干物体験
- 漁師と一緒に捕鯨船遊覧

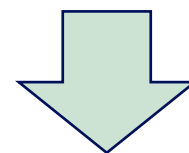
売上向上
（高単価設定）
長期滞在
にも効果あり

地域の人が主役となった体験プランとのセット販売

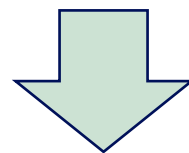


※株式会社漁村計画作成の漁村資源図

「である」「つながる」「たのしむ」
この領域は、ツーリズムとして、観光関係者が
取り組むことが可能な領域



地域の皆様が主役で、外部からお客様目線でのア
ドバイス等を継続実施



地域関係者が継続して取り組む海業コンテンツで
継続的に販売

・来訪者向けにガイドで付加価値をつけることと、自身の言葉で来訪者に海業の魅力を乗せる。
地域愛(シビックプライド)醸成の効果も

ご清聴ありがとうございました。



感動のそばに、いつも。